

- 만약 장기간 사용하지 않을 경우, 우선 전기를 충전시키고 어댑터와 연결되지 않은 상태에서 설비 전원 버튼을 5초간 길게 눌러 설비를 보호 모드에 진입시킵니다(본 모드에서 리모컨은 설비를 활성화 못함). 또한 3개월마다 1회씩 충전하며 너무 긴 시간 동안 저장하면 배터리 자체 방전으로 전기량이 너무 낮아지기에 회복할 수 없는 용량 손실 또는 배터리 손상을 초래할 수 있습니다.

10 시스템 업그레이드

- 최소50% 배터리 전기량 또는 전원과 연결된 상황에서만 시스템을 업그레이드 가능합니다.
- 온라인 업그레이드
시스템 설정을 통하여 온라인 업그레이드를 진행 하십시오.

설비를 정확히 사용하는 방법:

- 렌즈를 사람의 눈쪽으로 향하지 마십시오. 켜진 렌즈의 강한 빛이 눈에 대한 상해를 피하십시오.
- 설비의 통풍/배풍구를 차단하지 말고 설비의 방열 불량으로 인한 내부 전자 소자의 손상을 피하십시오.
- 종이, 천 등 청결 도구로 렌즈를 직접 닦을 수 없으며 렌즈의 손상을 피하십시오. 청결용 에어건으로 렌즈 표면의 먼지를 제거하십시오.
- 화학제품, 청결제 또는 맑은 물로 설비를 청결할 수 없으며 우수, 습기 및 광물질이 포함된 액체가 회로판에 대한 부식을 피하십시오.
- 설비 및 기타 부품과 소자를 어린이가 접촉하지 않는 곳에 저장하십시오.
- 설비를 건조하고 통풍되는 환경속에서 사용함을 확보하십시오.
- 설비를 매우 더운 또는 매우 추운 장소에 저장할 수 없으며 고(저)온은 전자 소자의 수명을 단축시킵니다. 설비 저장 및 사용시 허락된 환경은 0°C~40°C 입니다.
- 설비를 모든 가열 설비(예, 건조기, 전자레인지 등)에 넣어 건조시키지 마십시오.
- 설비의 손상을 피하기 위하여 설비를 힘주어 누르거나 또는 그 상부, 뒷측에 차단 물품을 놓지 마십시오.
- 설비를 던지거나, 두드리거나 또는 강하게 진동시키지 마십시오, 내부 회로판 손상의 원인이 될 수 있습니다.
- 설비를 스스로 분해하지 마십시오. 문제가 있는 경우, 애프터서비스센터 연락 하십시오.
- 모든 제품을 스스로 수리하지 마십시오. 설비 또는 부품이 정상적으로 작동하지 못하면 즉시 지미 애프터서비스센터 연락하거나 공장에 반송하여 수리를 받으십시오.
- 잘못된 유형으로 배터리를 교체할 시, 폭발 위험이 있습니다. 사용한 배터리는 지침에 따라 폐기하십시오.

FCC 경고

본 설비는 FCC 규칙 제15부분의 규정에 부합합니다. 작동은 이하의 두개 조건에 부합 합니다.

(1) 본 설비는 유해 방해를 초래하지 않습니다. (2) 본 설비는 반드시 모든 받은 방해를 접수하며 그중 의외 작동으로 초래된 방해가 포함합니다. 사용자 매뉴얼 또는 사용자 설명서는 반드시 사용자에게 다음 사항을 제시합니다. 규정에 부합하는 책임측이 명확히 승인하지 않은, 방열기에 대하여 고의 또는 실수로 개조 또는 교체하는 경우 사용자는 본 설비를 작동하지 못할 수 있습니다. 만약 매뉴얼은 지면이 아닌 형식으로 제공된 경우, 예를들면, 인터넷을 통하여 컴퓨터 디스크로 제공된 경우, 본 장절에서 요구한 정보는 본 대체 형식의 매뉴얼 중에 포함될 수 있으며 전제적인 조건은 사용자가 본 양식의 정보를 방문할 수 있는 능력이 있어야합니다.

B류 디지털 설비 또는 외부 설비에 대하여 사용자가 제공한 설명에는 반드시 이하의 또는 상사한 성명이 포함되어야 하며 매뉴얼 문서의 뚜렷한 위치에 있어야 합니다.

주의: 본 설비는 이미 테스트를 통과하고 FCC 규칙 제15 부분의 B류 디지털 설비에 대한 제한에 부합 합니다. 이러한 제한의 종지는 주택에 설치할때 해로운 방해를 유효하게 방지할 수 있음을 증명 합니다. 그러나 특정된 설치중에서 방해가 발생하지 않음에 대하여 보증할 수 없습니다. 만약 본 설비가 무선전 또는 티브이 접수에 해로운 방해가 있는 경우(본 설비를 켜거나 끄는 방법으로 확인 가능), 사용자는 이하의 한가지 또는 여러가지 조치로 방해를 시정할 수 있습니다.

- 접수 안테나의 방향을 다시 포지셔닝.
- 설비와 접수기 사이의 거리를 증가.
- 설비를 접수기가 연결된 회로와 다른 회로 소켓에 연결.
- 대리인 또는 경험이 있는 무선전/티브이 기술 인원에게 문의 하여 도움을 받으십시오.



본제품은 유해 광 방사를 발송할수 있기에 조심하십시오. FCC ID:2AFENXJ03W 2AFENXK03S

기존 제품 및 배터리 처분

귀하의 제품은 재활용 및 재사용이 가능한 고품질 재료 및 부품으로 설계 및 제조되었습니다.

제품의 이 기호는 제품이 유럽 지침 2012/19/EU에 의해 적용됨을 의미합니다.

이 기호는 유럽 지침 2013/56/EU에서 다루는 충전용 배터리가 제품에 내장되어 있으며, 일반 가정용 폐기물로 폐기할 수 없음을 의미합니다. 제품을 공식 수집처 또는 XGIMI 서비스 센터로 가져가셔서 전문가에게 충전용 배터리를 제거할 수 있도록 하십시오. 전기 및 전자제품, 충전용 배터리 지역 분리수거 시스템을 확인하십시오. 지역 규정을 따르시고 제품 및 충전용 배터리를 일반 가정용 쓰레기와 함께 배출하지 마십시오. 기존 제품과 충전용 배터리를 올바르게 처분하면 환경 및 인체에 부정적인 영향을 미치는 것을 예방하는 데 도움이 됩니다.

주의

- 내장된 배터리를 제거하면 보증은 무효화 되며 제품이 파손될 수 있습니다.

내장된 배터리를 제거하기 위해선 반드시 제품을 전문가에게 가져 가야합니다.

방사 노출 성명

리모컨에 대하여 본 설비는 제어를 받지 않는 환경을 대상으로 제정한 FCC 방사 노출 제한에 따라 인코딩 하였습니다.

본 발사기는 모든 기타 안테나 또는 발사기와 공동으로 놓거나 작동할 수 없습니다.
LED 프로젝터에 대하여 본 설비는 제어를 받지 않는 환경을 대상으로 제정한 FCC 방사 노출 제한에 부합 합니다.

본 설비를 설치 및 작동할때 방열기와 신체 사이의 거리는 최소 20cm를 유지 하십시오.

주의: 5150-5250Mhz주파수 범위는 실내 사용에 한합니다.

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

製品を使用する前に、製品説明書をよくお読みください

成都市極米科技有限公司(以下、「極米科技」または「極米」と略す。)の製品をご購入、ご利用いただき、ありがとうございます。お客様の安全と利益のために、製品を使用する前に、製品説明書をよくお読みください。製品の説明書または注意事項を無視し、誤った取り扱いをする事による人身障害、財産、またはその他の損害が発生した場合、極米科技は責任を負いません。

本製品の説明書(以下「説明書」という。)について

説明書の著作権は極米科技に所有する。

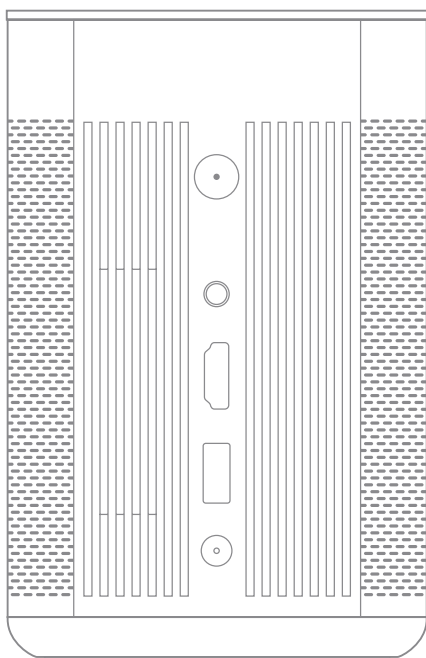
説明書に記載されている商標、商号はそれぞれの権利所有者に帰属する。

説明書の内容が実際の製品と一致しない場合、実際の製品を基準とする。

説明書の内容または条項に異議がある場合は、購入後7日以内に極米科技に書面で異議を申し立ててください。そうしない場合は、説明書の全体内容を理解し納得したことと見なします

* モデル: XJ03W XK03S

* 極米科技は説明書の解釈及び修正の権利を有する。



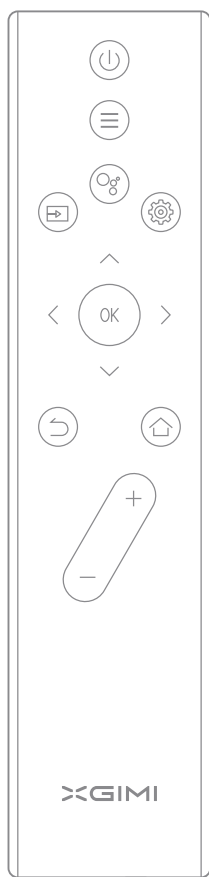
POWER

AUDIO

HDMI

USB

DC IN



電源キー

メニューキー

音声キー

Sourceキー

ショートカットキー

方向キー

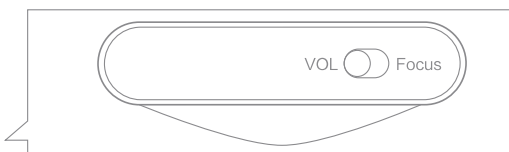
バックキー

ホームキー

ボリューム+(*フォーカス+)

ボリューム-(*フォーカス-)

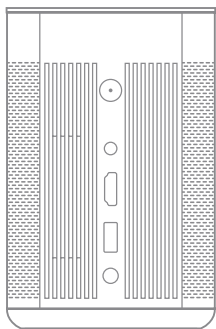
多機能スイッチ



*多機能スイッチを左(VOL)にすると、+/-キーを押してボリュームが調節できます。

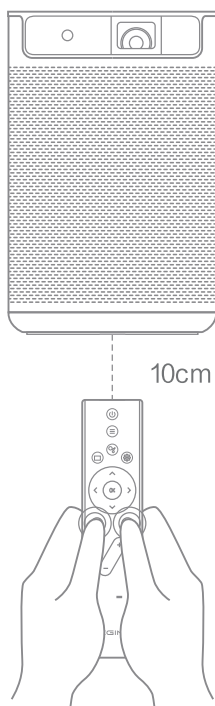
*多機能スイッチを右(Focus)にすると、+/-キーを押してフォーカスが調節できます。

1 デバイスのオン/オフ



- デバイスがオフのときはキーを"○"2秒間押し続けてデバイスをオンにします。
- デバイスがオンのときはキーを"○"5秒間押し続けてデバイスをオフにします。

2 リモコンペアリング



- リモコンをデバイスの10cm以内に近づけ、バックキーとホームキーを同時に押すと、LEDが点滅し、リモコンがペアモードになります (LEDが点滅したらキーを離し、LEDが点滅し続けます。「チーン」という音が鳴らしたら、接続成功と表します)
- ペアリングに失敗した場合は、タイムアウト30秒で終了します。終了後に上記の手順を繰り返して操作ください

3 リモコン機能について

- フォーカス機能

リモコンの下部にある多機能スイッチを右 (Focus) にスライドさせると、デバイスが自動的にフォーカスがトリガされ、ボリューム+/-キーを押すことで手動で調整

することがで。多機能スイッチを左(VOL)にスライドさせると、フォーカス機能がオフになり、ボリューム+/-キーでボリュームが調節できるようになります。

- ショートカット機能

“”を短押しはショートカット機能に対応します

4 オートフォーカス/リモコンフォーカス

- オートフォーカス機能がオンの場合、デバイスの電源を入れたり、デバイスの位置を移動したりすると、画面が自動的にクリアまで調整されます
- リモコン下部のスイッチを右(Focus)に回すと、オートフォーカスがオンになると同時に、ボリューム+/-キーでフォーカスが調整できます

5 Google Assistant

- リモコンの音声ボタン“”を押すとGoogle Assistantが利用できます
- Google Assistantで映像、音楽コンテンツ、またはコンサルティング情報を素早く取得できます

6 Bluetoothスピーカーモード

- 「Bluetoothスピーカーモード」であなたのデバイスを携帯型Bluetoothスピーカーに変えられます；
- デバイスがオンの状態で、設定内で「リモコンとアクセサリ」を選択して「新しいデバイスを追加」選択します；
- スマホのBluetoothで「XGIMI MoGo」をデバイスに接続して曲を再生します

7 設定

- 任意のインターフェイスでリモコンの「ショートカット」ボタンを使ってデバイスや画像を設定することができます

- リモコンの下部にある多機能スイッチを右 (Focus) にスライドさせると、デバイスが自動的にフォーカスがトリガされ、ボリューム+/-キーを押すことで手動で調整
- 設定の具体的な機能は次の通りx

3D設定	ビデオソースまたは信号ソースの3D設定
画像モード	ビデオソースまたは信号ソースでの画像パラメーターの調整
画面サイズ	信号源の画面のアスペクト比の設定
音声出力	デバイスの音声出力チャンネルの設定
HDMIバージョン	デバイスの音声出力チャンネルの設定
すべての設定	その他の関連項目の設定

* 3D設定、画像モードはビデオ再生または信号ソースチャンネルでのみ設定可能

* 画面サイズ、HDMIバージョンオプションはHDMIチャンネルでのみ設定可能

8 Chromecast

- PC\タブレット\携帯電話など多様なデバイスに対応
- 対応するスマホアプリの「Chromecastアイコン」でをすぐにテレビにミラーリングします
- 電話をかけたリメッセージを送ったりすることで投射画面が途切れることはなく、携帯電話のバッテリー消費の心配もありません
- AndroidスマホやPC上のChromeブラウザで全画面をテレビにミラーリングできます

9 充電について

- 公式標準アダプタを使用してデバイスを充電してください

電源を入れたまま充電すると充電時間が長くなります

電源を切った状態でアダプタを挿入し、充電中の場合は赤ライトが点滅し、緑ライトが点灯(10秒間消灯)している場合は充電が完了していることを示します

- 長期間使用しない場合は、まず完全に充電し、アダプタが接続されていないときにデバイスの電源ボタンを5秒間押してバッテリー保護モードに切り替え(このモードでは、リモコンでデバイスを起動できない)、3か月ごとに充電し、長時間の保管でバッテリーの自己放電による低電力、不可逆的な容量の損失または破損を防止します。

システムのアップグレード

システムをアップグレードするには、最低50%のバッテリー残量または電源に接続する必要があります。

オンライン・アップグレード

システム設定でオンライン・アップグレード

重要な注意事項

デバイスを正しく使用するには、

- レンズを人の目に向けないようにしてください。電源を入れた後のレンズの強い光が目にはダメージを与える恐れがあります
- 機器の吸気/排気口をふさがないようにください。機器の放熱が正常に行われず、内部電子機器に損傷を与え与える恐れがあります
- 紙や布などの清潔道具でレンズを直接拭かないようにしてください。レンズに損傷を与える恐れがあります。レンズの表面のほこりを取り除くには、清潔なエアブローを使用してください
- 化学製品、洗浄剤または清水で設備の洗浄および雨水、湿気、ミネラルを含む液体による回路基板の腐食を防ぎます
- 子どもが手の届かない場所に機器とその部品やアクセサリを置いてください
- 設備を乾燥した換気環境で使用してください
- 機器を過熱や過冷の場所に置かないようにしてください。高(低)温は電子機器の寿命が縮まる原因となります。デバイスの保管および使用環境の温度は0~40°C
- 本設備を暖房器具(乾燥機、電子レンジなど)に入れて乾燥させないようにしてください。
- 機器の損傷を防ぐため、機器を強く押し付けたり、機器の上や背面に遮蔽物を置いたりしないでください
- 本設備を投げ出したり、たたいたりまたは強く震わせたりしないでください。内部の回路基板が破損する原因となります
- 機器を私的に取り外そうとしないでください。ご不明な点がございましたら、極米アフターサービスまでご連絡ください
- 本製品をご自分で修理しないでください。設備または部品が正常に機能しない場合は、極米アフターサービスに相談しまたは修理工場へ返却し修理を依頼する必要があります
- 間違ったタイプのバッテリーと交換すると、爆発する危険があります。使用後のバッテリーは指示に従って処分してください。

FCC警告

本装置はFCC規則の15部に準拠しています。操作は以下の2つの条件を満たしています、(1)この装置は有害な干渉を生じない、(2)この装置は、偶発的な操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信した干渉をすべて受け入れる必要があります。ユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、法令順守の責任者によって明示的に承認されていないヒートシンクの意図的または意図しない変更および交換によって、ユーザーがデバイスを操作できなくなる可能性があることをユーザーに明示すべき。マニュアルが紙媒体以外の形式で提供されている場合、例えばインターネット経由でコンピュータのディスク上に提供されている場合、ユーザーがそのフォーム情報にアクセスできることを前提として、本セクションが要求される情報は、この代替形式のマニュアルに含めることが必要です

クラスBデジタルデバイスまたは周辺機器の場合、ユーザーに提供される説明には、以下のような記述が含まれ、マニュアル・テキストの目立つ位置に掲載する必要があります

ご注意:本デバイスはテスト済みで、FCC規則の15部に準拠したクラスBデジタル・デバイスの制限に適合していることが確認されています。これらの制限は、住宅で据え付けると有害な干渉を効果的に防止できることを証明するものです。指示に従って取り付けや操作を行わない場合、当該装置は無線周波エネルギーを生成して放射し、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の据え付け環境で干渉が発生しないと保証できません。このデバイスがラジオやテレビの受信に有害な干渉を及ぼす可能性がある場合(デバイスの電源を入れたり切ったりして確認できます)は、次のいずれかの方法で干渉を修正することができます

- 受信アンテナの向きを変更します
- デバイスと受信機との距離を増やします
- 受信機に接続されている回路とは別の回路のコンセントにデバイスを接続します
- 販売代理店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談します
- 本デバイスは、子機のような役目をし、2.4 GHz (2412~2462MHz) バンドで作動します。



本製品が有害な光を発生する可能性がありますのでご注意ください。FCCID:2AFENXJ03W 2AFENXK03S

使用後の製品とバッテリーの処分

製品は、リサイクル・再使用可能な高品質材料と部品を使用して設計・製造されています。

製品に記載されているシンボルは、欧州指針2012/19/EUの対象製品であることを意味しています。

このシンボルがついている製品は、欧州指針2013/56/EUの対象である内蔵型充電式バッテリーを保有していることを意味しており、これは通常のごみと一緒に処分することはできません。本製品を正式な回収場所またはXGIMIサービスセンターに持って行き、本充電式バッテリーを専門業者によって取り外してもらうようお願いいたします。皆様の地域の電気・電子製品や充電式バッテリーの分別回収システムの情報をご確認ください。地域の規則に従い、本製品および充電式バッテリーを通常のごみと一緒に処分されないようお願いいたします。使用後の製品と充電式バッテリーを正しく処分することにより、環境や人体への悪影響を防止することができます。

警告

- 内蔵バッテリーを取り外すと、保証は無効になり、製品が破損する場合があります。

内蔵バッテリーを取り外す場合は、必ず専門業者に委ねてください。

放射線暴露に関する声明

リモコンの場合、この装置は、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝範囲に準拠しコンパイルします

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と一緒に配置または操作することはできません。

LEDプロジェクタの場合、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝範囲に準拠しています。本デバイスを取り付け、操作する時に、ヒートシンクと人の体まで距離は20cm以上でなければなりません

注:5150-5250Mhz周波数帯は、屋内用に限定されます

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

使用本產品前，請仔細閱讀本產品說明書

感謝您購買和使用成都市極米科技有限公司（以下簡稱“極米科技”或“極米”）的產品。為了您的安全和利益，在使用產品前請您仔細閱讀本產品說明書。如果您未按照產品說明書或注意事項操作，而導致任何的人身傷害、財產或其他損失，極米科技將不承擔責任。

關於本產品說明書（以下簡稱“說明書”）

說明書版權屬於極米科技所有；

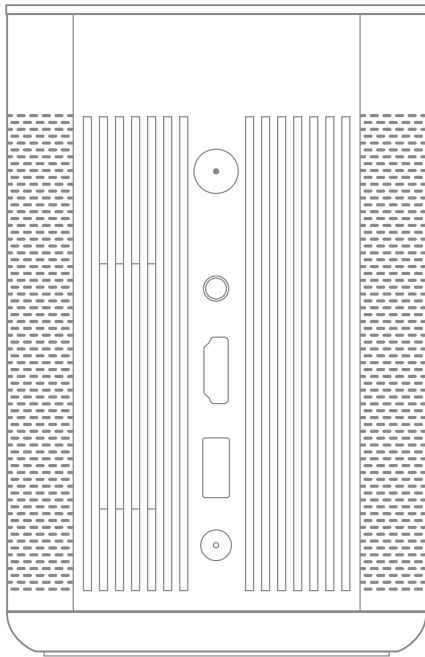
說明書提及的商標、字型大小屬於它們各自的權利擁有者；

說明書內容如與實際產品不一致，以實際產品為準。

如果您對說明書的任何內容或條款存在異議，請在購買後七日內向極米科技提出書面異議，否則視您已經同意、理解並接受說明書全部內容。

* 型號: XJ03W XK03S

* 極米科技保留對說明書解釋和修改的權利



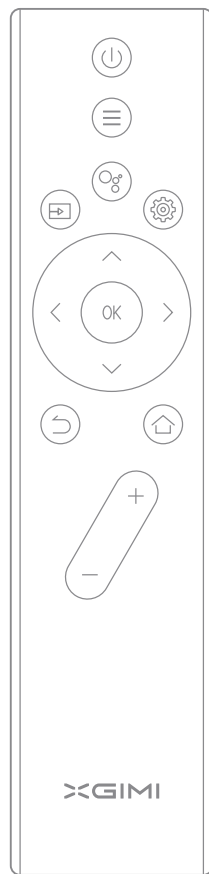
POWER

AUDIO

HDMI

USB

DC IN



電源鍵

菜單鍵

語音鍵

Source鍵

快捷鍵

五向鍵

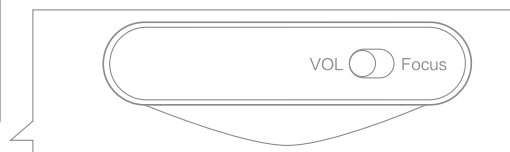
返回鍵

主頁鍵

音量加 (*焦距加)

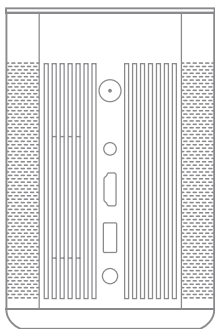
音量減 (*焦距減)

功能開關



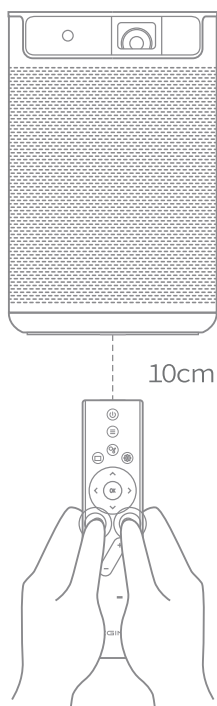
*功能開關撥至左側 (VOL), 加減鍵調節音量;
 *功能開關撥至右側 (Focus), 加減鍵調節焦距。

1 設備開/關機



- 設備關閉時,長按電源鍵“⊙”2秒,設備開
- 設備運行時,長按電源“⊙”5秒,設備關機

2 遙控器配對




- 將遙控器靠近設備10cm內,同時按下“↵”和“⏪”,指示燈閃爍,遙控器進入配對模式(指示燈閃爍後可鬆開按鍵,此時指示燈繼續閃爍,等待聽到“叮”的一聲,連接成功)
- 如果未配對成功,超時30秒退出。退出後按上述步驟重新操作

3 遙控器功能說明

- 調焦功能

遙控器底部功能開關滑至右側(Focus)時,可觸發自動對焦,同時可通過“音量+/-”鍵進行手動調節;功能開關滑至左側(VOL)時,調焦功能關閉,此時“音量

+/-”鍵對應音量調節功能

- 快捷鍵功能
短按“”對應快捷鍵功能

4 自動調焦/遙控器調焦

- 當自動調焦功能開啟時，設備開機或移動設備位置，畫面將自動調節清晰
- 將遙控器底部開關撥至右側 (Focus)，可出發自動對焦，同時也可通過“音量 +/-”鍵將畫面調節清晰

5 Google Assistant

- 按下遙控器的語音鍵“”可使用Google Assistant
- 通過Google Assistant你可以快速的獲取影視、音樂內容或諮詢資訊

6 藍牙音響模式

- 通過“藍牙音響模式”將你的設備變為一個隨身攜帶的藍牙音響；
- 設備開啟時，在設置內選擇“遙控器和配件”並“添加新設備”；
- 通過手機藍牙搜索“XGIMI MoGo”連接至設備並播放歌曲。

7 設置

- 在任意介面通過遙控器的“”鍵對你的設備和圖像進行設置
- 各項設置的具體功能如下：

3D設置	對視頻或信號源進行3D設置
圖像模式	對視頻或信號源下的圖像參數進行調整
畫面比例	對信號源的畫面比例進行調整
聲音輸出	對設備的聲音輸出通道進行設定
HDMI版本	對HDMI的版本進行設定
全部設置	進行其他相關項的設置

* 3D設置、圖像模式僅能在視頻播放或信號源通道下可設置

* 畫面比例、HDMI版本選項僅在HDMI通道下可設置

8 Chromecast

- 支持PC\平板\手機等多種設備
- 通過所支持手機應用的“Chromecast圖示”快速將影音內容投至TV
- 不會因打電話或發送消息而導致投屏中斷，也不用擔心手機電池的消耗
- 可對Android手機或PC上的Chrome瀏覽器將整個畫面投至TV

9 充電說明

- 請使用官方標配適配器對設備進行充電
- 在開機狀態下充電會延長充電時間
- 關機狀態下，插入適配器，若紅燈閃爍表示正在充電，綠燈長亮（長亮10秒熄滅）表示電量已充滿
- 若長期不用，請先充滿電，且在不插入適配器時，長按設備電源鍵5秒進入電池保護模式（該模式下，遙控器無法喚醒設備），並每隔3個月充一次電，以免存放時間

- 過長, 電池因自放電導致電量過低, 造成不可逆的容量損失或損壞

10 線上升級

- 需要在至少50%的電池電量或連接電源才能進行系統升級
- 線上升級級
通過系統設置進行線上升級

重要注意事項

如何正確使用設備：

- 請勿將鏡頭朝向人眼，避免開機後鏡頭強光對眼睛造成傷害
- 請勿堵塞設備的進/出風口，避免設備無法正常散熱，對內部電子器件造成損壞
- 請勿使用紙、布等清潔工具直接擦拭鏡頭，避免對鏡頭造成損壞；請使用清潔氣吹清除鏡頭表面灰塵
- 請勿用化學製品、清洗劑或清水來清洗設備，以及避免雨水、濕氣和含有礦物質液體腐蝕電路板
- 請將設備及其部件和配件放在兒童觸摸不到的地方
- 請確保設備在乾燥通風的環境下使用
- 請勿將設備存放在過熱或過冷的地方，高(低)溫會縮短電子器件的壽命。允許設備存儲及使用的環境為0°C~40°C
- 請勿將設備放入任何加熱設備(如乾燥機、微波爐等)進行烘乾
- 請勿用力擠壓設備或在其上方、背部放置遮擋物，以避免損壞設備
- 請勿扔放、敲打或強烈震動設備，導致內部電路板損壞
- 請勿試圖私自拆裝設備。如有問題，請聯絡極米售後服務
- 請勿自行維修任何產品。若設備或任何部件不能正常工作，應及時諮詢極米售後服務或返廠維修
- 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能
- 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用
- 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
- 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

FCC警告

本設備符合FCC規則第15部分的規定。操作符合以下兩個條件：(1) 此設備不會產生有害干擾，(2) 此設備必須接受任何收到的干擾，包括可能導致意外操作的干擾。用戶手冊或使用說明書應提醒用戶，未經合規負責方明確批准的，有意或無意的散熱器修改和更換可能會使用戶無法操作該設備。如果手冊以紙質以外的形式提供，例如通過因特網在電腦磁片上提供，則本節所要求的資訊可以包含在該替代形式的手冊中，前提是用戶可以具有訪問該表單資訊的能力。

對於B類數字設備或週邊設備，用戶提供的說明應包括以下或類似聲明，放在手冊文本的顯著位置：

注意：本設備已經過測試，符合FCC規則第15部分對B類數字設備的限制。這些限制旨在證明在住宅安裝中有效防止有害干擾。如果不按照說明進行安裝和使用，本設備會產生並輻射射頻能量，可能會對無線電通信造成有害干擾。但是，無法保證在特定安裝中不會發生干擾。如果此設備確實對無線電或電視接收造成有害干擾（可通過關閉和打開設備來確定），建議用戶嘗試通過以下一種或多種措施糾正干擾：

- 重新定位接收天線的方向。
- 增加設備和接收器之間的距離。
- 將設備連接到與接收器連接的電路不同的電路插座上。
- 諮詢經銷商或有經驗的無線電/電視技術人員以尋求幫助。



小心本產品可能發出有害的光輻射。FCC ID:2AFENXJ03W 2AFENXK03S

輻射暴露聲明

對於遙控器，此設備使用針對不受控制的環境規定的FCC輻射暴露限制進行編譯。

此發射器不得與任何其他天線或發射器共同放置或操作。

對於LED投影儀，該設備符合針對不受控制的環境制定的FCC輻射暴露限制。安裝和操作本設備時，散熱器與身體之間的距離應至少為20釐米。

注意：對於5150-5250Mhz頻段，僅限室內使用。

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

Prosimy o uważne przeczytanie niniejszej Instrukcji obsługi produktu przed jego użyciem.

Dziękujemy za zakup i korzystanie z produktów firmy Chengdu XGIMI Technology Co. (zwanej dalej „XGIMI Technology” lub „XGIMI”). Dla własnego bezpieczeństwa i dobra należy uważnie przeczytać Instrukcję obsługi produktu przed jego użyciem. XGIMI Technology nie przyjmuje żadnej odpowiedzialności za jakiegokolwiek obrażenia ciała, mienia lub inne straty spowodowane nieprzestrzeganiem Instrukcji obsługi produktu lub środków ostrożności.

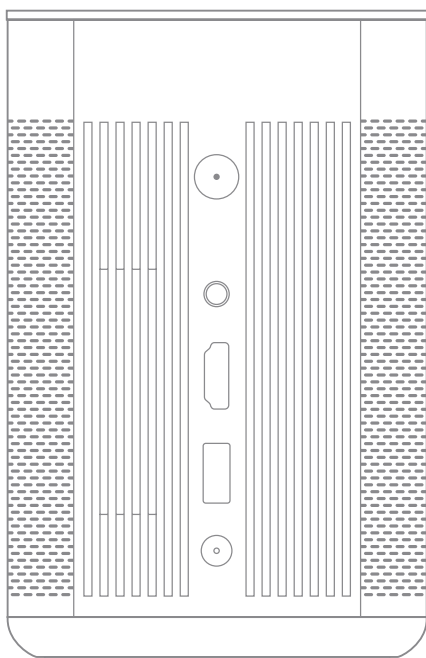
O Instrukcji obsługi produktu (zwanej dalej „Instrukcją”)

Prawa autorskie do Instrukcji należą do XGIMI Technology;
Znaki towarowe i nazwy wymienione w Instrukcji należą do ich prawowitych właścicieli;
W przypadku niezgodności pomiędzy treścią Instrukcji a rzeczywistym produktem, decydujące znaczenie ma produkt rzeczywisty.

W przypadku sprzeciwu wobec jakiegokolwiek treści lub klauzuli Instrukcji, należy zgłosić pisemne zastrzeżenie do XGIMI Technology w ciągu 7 dni od daty zakupu; w przeciwnym razie za fakt przyjmuje się, zgodę, zrozumienie i akceptację całej treści Instrukcji.

* Model: XJ03W XK03S

* XGIMI Technology zastrzega sobie prawo do interpretacji i zmiany Instrukcji.



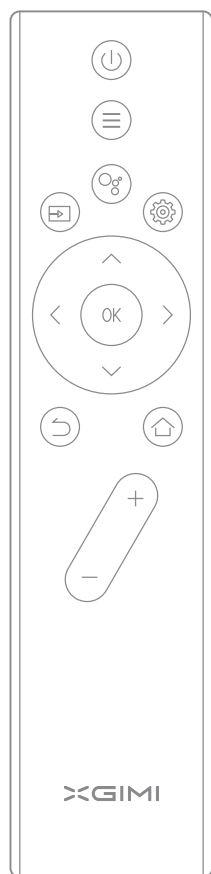
POWER

AUDIO

HDMI

USB

DC IN



Uruchamianie i wyłączenie

Przycisk menu

Przycisk głosu

Przycisk źródła

Przycisk skrótu

Przycisk pięciokierunkowy

Przycisk powrotu

Przycisk ekranu głównego

VOL UP (Głośność +) (* Ostrość +)

VOL DOWN (Głośność -) (* Ostrość -)

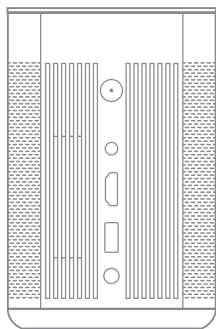
Przełącznik funkcji



* Głośność jest regulowana za pomocą przycisku zwiększania lub zmniejszania, gdy przełącznik funkcji jest przesunięty w lewo (Głośność);

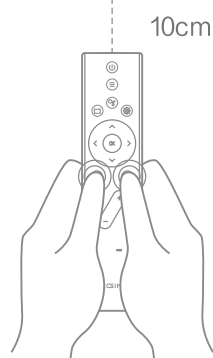
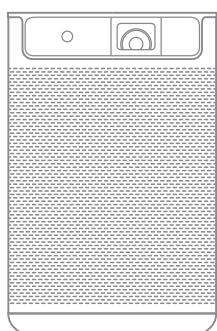
* Ostrość jest regulowana za pomocą przycisku zwiększania lub zmniejszania, gdy przełącznik funkcji jest przesunięty w prawo (Ostrość);

1 Uruchamianie/wyłączanie urządzenia



- Gdy urządzenie jest **wyłączone**, naciśnij i przytrzymaj klawisz przez "⏻" 2 sekundy, aby **włączyć** urządzenie.
- Gdy urządzenie jest **włączone**, naciśnij i przytrzymaj klawisz przez "⏻" 5 sekund, aby **wyłączyć** urządzenie.

2 Remote control pairing



- Umieść pilota w odległości 10 cm od urządzenia, naciśnij jednocześnie „↵” i „⬆”, po czym kontrolka zacznie migać, a pilot przejdzie w tryb parowania. (Przycisk może zostać zwolniony po tym, jak kontrolka zacznie migać, a kontrolka dalej miga i połączenie zostaje zrealizowane, gdy usłyszysz sygnał dźwiękowy.)
- Jeśli parowanie nie powiedzie się, należy wyjść po 30 sekundach. Po wyjściu należy ponownie wykonać operację zgodnie z powyższymi instrukcjami.

3 Opis funkcji pilota

- Funkcja regulacji ostrości

Automatyczne ustawianie ostrości można uruchomić, gdy przełącznik funkcji na dole pilota zostanie przesunięty w prawo (Ostrość), a ręczne ustawianie

ostrości można wykonać za pomocą przycisku „VOL +/-”; funkcja regulacji ostrości zostanie wyłączona, gdy przełącznik funkcji zostanie przesunięty w lewo (Głośność), a przycisk „VOL +/-” wykonywać będzie funkcję regulacji głośności.

- Funkcja przycisku skrótu
Funkcję przycisku skrótu można wykonać poprzez krótkie naciśnięcie „”.

4 Automatyczne ustawianie ostrości/ regulacja ostrości przez pilota.

- Po uruchomieniu funkcji automatycznej regulacji ostrości, obraz zostanie ustawiony w taki sposób, aby był wyraźny automatycznie po uruchomieniu urządzenia lub przeniesieniu go w inne miejsce.
- Automatyczne ustawianie ostrości można uruchomić, gdy przełącznik na dole pilota zostanie przesunięty w prawo (Ostrość), a przycisku „VOL +/-” można użyć jednocześnie w celu wyregulowania wyrazistości obrazu.


5 Google Assistant

- Google Assistant można użyć poprzez naciśnięcie przycisku głosu na pilocie,
- Za pomocą Google Assistant można szybko uzyskać dostęp do filmów i telewizji, muzyki oraz informacji.

6 Tryb Bluetooth Audio

- Zmień swoje urządzenie w przenośny głośnik Bluetooth za pomocą „Trybu Bluetooth Audio”;
- Po uruchomieniu urządzenia, w ustawieniach wybierz „Pilot i akcesoria” oraz „dodaj nowe urządzenie”;
- Znajdź “XGIMI MoGo” w przenośnych urządzeniach Bluetooth, połącz się z urządzeniem i odtwórz utwór.

7 Ustawienie


- Ustaw swoje urządzenie i obraz w dowolnym interfejsie za pomocą przycisku „” pilota.
- Poszczególne funkcje różnych ustawień są następujące:

Ustawienia 3D	Ustawienia 3D dla źródła wideo lub sygnału
Tryb obrazu	Ustawienie parametru obrazu przy sygnale wideo lub sygnału
Format obrazu	Regulacja dla formatu obrazu źródła sygnału
Wyjście głosu	Ustawienie dla kanału wyjścia głosu urządzenia
Wersja HDMI	Ustawienia dla wersji HDMI
Wszystkie ustawienia	Ustawienia dla innych powiązanych pozycji

* Ustawienia 3D i tryb obrazu mogą być ustawiane tylko w kanale odtwarzania wideo lub źródła sygnału.

* Opcje formatu obrazu i wersji HDMI można ustawiać tylko w kanale HDMI.

8 Chromecast

- Obsługuje PC\panele\telefony komórkowe i różne inne urządzenia.
- Przesyłanie ekranu nie zostanie przerwane przez rozmowę telefoniczną lub wysyłanie wiadomości oraz nie trzeba martwić się o zużycie baterii w telefonie.
- Szybko przekazuj treści wideo i audio do telewizora za pomocą „” wspieranej aplikacji mobilnej.
- Na ekran telewizora można przysyłać cały ekran telefonu z systemem Android lub przeglądarki Chrome na komputerze PC.

9 Instrukcje dotyczące ładowania

- Urządzenie należy ładować przez oficjalny, standardowo skonfigurowany
- Czas ładowania wydłuży się w przypadku ładowania w stanie uruchamiania.
- Po włożeniu do adaptera w stanie zatrzymania, migająca czerwona kontrolka oznacza ładowanie, podczas gdy zielona świecąca przez długi czas kontrolka (wyłączona po świeceniu przez 10 s) oznacza pełne naładowanie baterii.
- W przypadku długotrwałego nieużywania urządzenia, najpierw należy w pełni naładować urządzenie, wcisnąć i przytrzymać przez 5 s przycisk zasilania, aby wejść w tryb ochrony baterii (urządzenie nie może być uruchomione przez pilota w tym trybie) bez wkładania go do adaptera, a następnie ładować urządzenie raz na 3 miesiące, aby uniknąć nieodwracalnej utraty pojemności lub uszkodzenia wynikającego z nadmiernego przepływu energii elektrycznej spowodowanego samorozładowaniem baterii po nadmiernie długim okresie przechowywania.

10 Aktualizacja systemu

- System można aktualizować tylko przy poziomie naładowania baterii wynoszącym co najmniej 50% lub przy podłączonym zasilaniu.
- Aktualizacja online
Aktualizację online można przeprowadzić w ustawieniach systemu

Ważne środki ostrożności

Prawidłowy sposób użytkowania urządzenia:

- Nie należy kierować obiektywu w stronę oczu, aby uniknąć ich uszkodzenia spowodowanego silnym światłem obiektywu po uruchomieniu.
- Nie należy blokować wlotu/wylotu powietrza urządzenia, aby uniknąć uszkodzenia wewnętrznych elementów elektronicznych w wyniku nieprawidłowego rozpraszania ciepła przez urządzenie.
- Nie należy wycierać obiektywu bezpośrednio przy użyciu środków czyszczących, takich jak papier, ściereczka itp. w celu uniknięcia uszkodzenia obiektywu; należy
- oczyścić powierzchnię obiektywu poprzez przedmuchiwanie czystym powietrzem.
- Nie należy czyścić urządzenia chemikaliami, detergentami lub czystą wodą, aby uniknąć korozji płytki drukowanej wskutek działania wody, wilgoci i płynów zawierających minerały.
- Urządzenie oraz jego komponenty i akcesoria należy przechowywać w miejscu niedostępnym dla dzieci.
- Upewnij się, że urządzenie jest używane w środowisku suchym i wentylowanym.
- Nie należy przechowywać urządzenia w miejscach nadmiernie nagranych lub schłodzonych, ponieważ wysoka (niska) temperatura skraca żywotność urządzeń elektronicznych. Dopuszczalne środowisko przechowywania i użytkowania urządzenia to 0°C~40°C.
- Nie wkładać urządzenia do żadnych urządzeń grzewczych (takich jak suszarka, kuchenka mikrofalowa itp.) w celu wysuszenia.
- Nie należy mocno wysuwać urządzenia ani stawiać na nim lub na jego tylnej ściance przeszkód, aby uniknąć uszkodzenia urządzenia.
- Nie rzucać urządzeniem na miejsce, nie uderzać ani nie wstrząsać nim gwałtownie, aby uniknąć uszkodzenia wewnętrznej płytki drukowanej.
- Nie próbuj rozbierać i składać urządzenia samodzielnie. W przypadku jakichkolwiek problemów prosimy o kontakt z serwisem XGIMI.
- Nie naprawiaj żadnych produktów samodzielnie. W przypadku wystąpienia normalnej usterki urządzenia lub dowolnego komponentu, należy niezwłocznie skonsultować się z serwisem XGIMI lub zwrócić urządzenie do naprawy w fabryce.
- Istnieje zagrożenie wybuchem, jeśli bateria zostanie wymieniona na nieprawidłowego typu baterii. Zużyte baterie należy utylizować zgodnie z instrukcjami.

Alarm FCC

Urządzenie spełnia postanowienia części 15 przepisów FCC. Działanie spełnia następujące 2 warunki: (1) urządzenie nie powoduje szkodliwych zakłóceń i (2) urządzenie musi obsługiwać wszelkie odbierane zakłócenia, w tym zakłócenia, które mogą powodować niepożądane działanie. Instrukcja użytkownika lub instrukcja obsługi powinna przypominać użytkownikom, że celowa lub niezamierzona modyfikacja i wymiana radiatorów bez wyraźnej zgody strony odpowiedzialnej za zgodność może uniemożliwić użytkownikowi obsługę urządzenia. Jeżeli instrukcja jest udostępniana w formie innej niż papierowa, np. na nośniku komputerowym przez Internet, wówczas informacje wymagane w tej sekcji mogą być zawarte w instrukcji w formie alternatywnej, przy założeniu, że użytkownicy mogą mieć dostęp do informacji w tej formie.

W przypadku urządzeń cyfrowych lub urządzeń peryferyjnych klasy B instrukcje dostarczane użytkownikom zawierają następujące lub podobne oświadczenia i są umieszczone w widocznym miejscu w tekście instrukcji:

Uwagi: Urządzenie zostało przetestowane pod kątem zgodności z ograniczeniami części 15 przepisów FCC dotyczących urządzeń cyfrowych klasy B. Ograniczenia te mają na celu zapewnienie skutecznego zapobiegania szkodliwym zakłóceniom w instalacjach mieszkaniowych. Jeżeli instalacja i użytkowanie nie są przeprowadzane zgodnie z instrukcją, urządzenie będzie generować i emitować energię o częstotliwości radiowej oraz może powodować szkodliwe zakłócenia w komunikacji radiowej. Nie ma jednak gwarancji, że zakłócenia nie wystąpią w danej instalacji. Jeśli urządzenie powoduje szkodliwe zakłócenia w odbiorze radiowym lub telewizyjnym (stwierdzone poprzez zatrzymanie i uruchomienie urządzenia), zaleca się podjęcie próby skorygowania zakłóceń za pomocą jednego lub kilku z poniższych środków:

- Zmiana kierunku ustawienia anteny odbiorczej.
- Zwiększenie odległości między urządzeniem a odbiornikiem.
- Podłączenie urządzenia do gniazda obwodu innego niż obwód podłączony do odbiornika.
- Skonsultowanie się z dystrybutorem lub doświadczonym technikiem radiowym/telewizyjnym w celu uzyskania pomocy.
- To urządzenie działa jako urządzenie podrzędne i działa w paśmie 2,4 GHz (2412~2462 MHz).



Należy pamiętać, że produkt może emitować szkodliwe promieniowanie świetlne. FCC ID:2AFENXJ03W 2AFENXK03S

Utylizacja starego produktu i baterii

Produkt został zaprojektowany i wyprodukowany z wysokiej jakości materiałów i komponentów, które można poddać recyklingowi i ponownie wykorzystać.

Ten symbol na produkcie oznacza, że produkt jest objęty dyrektywą europejską 2012/19 / UE.

Ten symbol oznacza, że produkt zawiera wbudowany akumulator podlegający dyrektywie europejskiej 2013/56/UE, którego nie można wyrzucać razem ze zwykłymi odpadami domowymi. Zdecydowanie zalecamy zabranie produktu do oficjalnego punktu zbiórki lub do centrum serwisowego XGIMI w celu profesjonalnego wyjęcia akumulatora. Należy zapoznać się z lokalnym systemem selektywnej zbiórki produktów elektrycznych i elektronicznych oraz akumulatorów. Przestrzegaj lokalnych przepisów i nigdy nie wyrzucaj produktu ani akumulatorów z normalnymi odpadami domowymi. Prawidłowa utylizacja starych produktów i akumulatorów pomaga zapobiec negatywnym skutkom dla środowiska i zdrowia ludzkiego.

Uwaga

- Usunięcie wbudowanej baterii unieważnia gwarancję i może.

Przynieś zawsze swój produkt profesjonalistom, aby wyjąć wbudowaną baterię.

ROświadczenie o narażeniu na promieniowaniu

W przypadku pilota, urządzenie jest skonstruowane przy użyciu limitów narażenia na promieniowanie FCC określonych dla środowisk niekontrolowanych.

Nadajnik nie może być umieszczany ani działać w połączeniu z żadną inną anteną lub nadajnikiem

W przypadku projektora LED, urządzenie spełnia limity narażenia na promieniowanie FCC określone dla środowisk niekontrolowanych. Podczas instalacji i eksploatacji urządzenia, odległość pomiędzy radiatorom a korpusem powinna wynosić co najmniej 20 cm.

Uwagi: Zakres częstotliwości 5150-5250 Mhz obowiązuje tylko dla użytku wewnętrznego.

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

Chengdu XGimi Technology Co.,Ltd.

Building A4, Tianfu Software Park, High-tech zone, Chengdu, China
www.xgimi.com/en service@xgimi.com